

## 令和2年度第2回

### すぎなミーティング報告書(令和2年10月25日開催)

#### 「学校の未来を語ろう」

#### ～1人1台タブレットPCの活用で、学校が変わる～

区では、区と区民が自由に意見交換をする場など、区民参加の仕組みづくりを進めています。その取り組みの一つとして、その時々行政課題をテーマに区長と区民とが直接意見交換をする場「～区長と話そう、聞いてみよう～すぎなミーティング」を開催しています。

今回は「学校の未来を語ろう」をメインテーマに、無作為抽出した2,000名の中から参加いただいた12名の方と、今後、区立小中学校に配備される児童生徒1人1台専用のタブレットPCの活用について話し合いました。



#### 最初に担当者から説明しました

##### ●区の取り組みについて

杉並区は、「学びの可能性を広げる未来の投資である」という考えのもとにICTの活用を精力的に進めてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を機に計画を早め、今年(令和2年)11月から、1人1台のタブレットPCを小中学校全校に配備することとしました。

子どもたちのつながりと学びを補償するとともに、通常の授業においても子どもたちがいつでもどこでもタブレットPCを活用できる環境が整います。

##### ●1人1台タブレットPC導入のメリットは

1人ひとりの学習進度や理解度に応じて、よりきめ細かく個に応じた学びの提供ができるようになります。

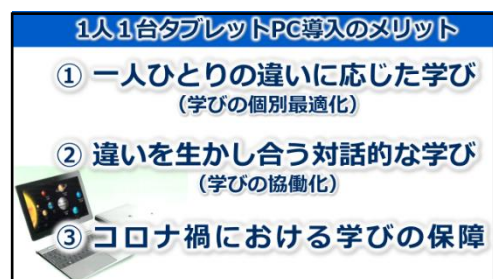
また、コロナ禍にあっても、学校と家庭がつながり、子どもたちが、いつでもどこでも学び続ける環境を整えることができます。

##### ●GIGAスクールになると(※GIGAスクール構想とは、文部科学省が推進する取り組みで、主な目的はICTの活用によって子供たち1人ひとりに合わせた教育を行えるようにすること)

教師は授業中でも1人ひとりの反応をモニタリングしながら把握することができ、個々の学習を支援することができます。

また、海外の学校との交流学習や交流自治体との合同授業など、多様な人とのつながりを実現するオンライン学習(遠隔学習)が可能になります。

さらに、家においても学習のサポートを受けることが可能となるので、不登校や病気で学校に通えない児童生徒が、場所や時間の制約なく学習できるようになります。



## 区長の想い！

### ●教育への思い

私は、区長に就任してから、基本的には「教育には予算をかけても口は出さず」というスタンスに立ち、教育の環境を作っていくことを応援してきました。教育の実務は、教育者の人たちに任せていくことが取るべき態度である、というのが私の信念です。

そのため、今回の懇談会は、区民の方から出される自由な意見を教育現場に繋げるために、教育長をはじめ教育現場の担当者にも生の声を受け止めてもらいたいと考えました。



### ●パソコンと子どもについて

本日のすぎなミーティングを通じて、子どもたちへの1人1台のタブレットPC配置にあたっては、「無制限、自由に、先生と共有」が大事だと思いました。

パソコンを使うにあたり、どう使うか、子どもだからどうだなど、現実的に色々な問題が出てくると思います。しかし、制限されればされるほどやりたくなるのが子どもだと思います。

そこで、逆に「自由に使っていいよ」「無制限でいいよ」とした方がいいと思います。その代わり「必ず先生と共有だよ」とオープンにしていけば、子ども自身が判断することで必要な制限がかかるのではないかと思います。

## 教育長の想い！

### ●学校とは

学校は何のためにあるのかというと「幸せになるための準備をする場所である」と思っています。

義務教育である小学校、中学校を通して、子どもたちに幸せになる準備をさせる期間が学校であるという考えです。

### ●ICTについて

ICTを使うということは、これからの人が生きていくうえで必要なことであると思っています。

しかし、誤解してはいけないことは、今まで先生と生徒たちが対面で勉強をしてきたことや、友達同士で遊んだり、時には喧嘩してきたことなどの人間関係を一切否定するものではないということです。全てがICTに代わるということではありません。

ICTを活用した教育と、対面による教育のハイブリッド、それぞれの良さをしっかり捉えた教育が大切だと思っています。それが、これからの学校の未来であり、そのために1人1台のパソコンを活用し、子どもたちみんなが幸せになる準備を大事にしていきます。

杉並区教員委員会では、ICTについて「小中学生の誰一人残さず学ぶことのできる環境づくり、しっかりした学びを、学校をプラットフォームにして進めていく」ために活用していきたいと考えています。



## 会場の様子と参加者の主なご意見

### ●ICTのポジティブな使い方

タブレットPCは、子どもたちの「自分の好きなところ」を伸ばすために使っていくことが望ましいと思います。

興味のあることを突き詰めて考えてみたり、様々な世界があることを知ることができるICT授業ができればいいと思いました。

### ●成長を促すICTの活用を

学校にICT機器を導入して終わり、ということではなく、ICTを使ってどのように児童生徒の成長を促していくかが重要ではないかと思います。

### ●地域に住む私たちも学習のサポートを

子どもたちの未来への投資という意味で、地域に住んでいる私たちもサポートできるのではないかと思います。

地域住民や保護者も含めて、ICT学習などのサポート体制を作っていく必要があると考えます。



### ●第三の学びの場を

色々な事情を持つ子たちにタブレットPCの使い方を説明してくれるスタッフやボランティアがいるような、第三の学びの場を作ってもらえたらと思います。

### ●子どもたち以外にもICTに触れる機会を

保護者も教育の場に来て、子どもたちがどのように触れて、どのように学んでいるのかを体感できる機会があるとよいと思います。

### ●教育者にもストレスの無い運用を

ベテランの先生に、いきなり「このICT機器を使って授業をしてください」と言っても、先生によっては大変だと思います。例えば、タブレットPCなどの操作が得意な先生がカバーして、対面の授業は年配の先生がカバーして、先生方にもストレスのない切り替えができれば、と思いました。

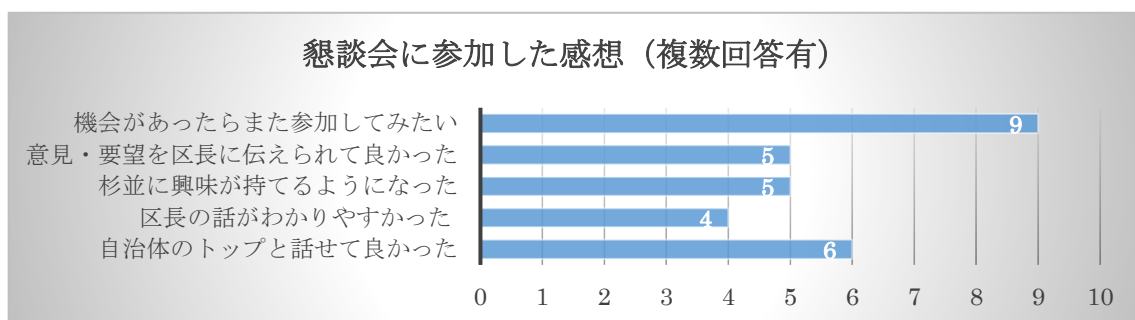


### ●すぎなミーティングを終えて

区立学校の全児童生徒にタブレットPCを配備して活用していくに当たって、これからの学校のあり方について、様々なご意見やアイデアが出されました。

ミーティング終了後のアンケートでも、「杉並区の子どもの未来を、世代の違う方々と話しができて貴重な体験でした」「今後も区民として、教育に還元できることがあれば協力したいと思います」など、貴重な感想をいただきました。

いただいたご意見は今後の取り組みに生かしてまいります。



#### 令和2年度第2回すぎなミーティング報告書

- ・開催日 令和2年10月25日
  - ・参加者 区民12名、区長、教育長、教育政策担当部長、済美教育センター所長ほか
- 令和3年3月 編集・発行 総務部区政相談課  
〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111